

(別紙5)

新潟県における緊急銃猟対応等実務者の育成に係る評価報告

1 現状や課題等

狩猟者等の減少や高齢化などにより、ツキノワグマの捕獲従事者も減少し、持続的な捕獲体制を維持することが困難な状況にある。また、ツキノワグマの生息域が拡大していることを踏まえると、今後はツキノワグマの捕獲を行ったことがない狩猟者や関係者等が、出沒対応等にあたる可能性も考えられ、必要な専門知識や捕獲技術者の技術向上が必要。

2 1の課題等に対応するための取組内容

実施時期	令和7年9月25日（午前・午後計2回）、10月9日、10月23日
場所	新潟県猟友会ライフル射撃場
目的	狩猟者等の専門知識及び比較技術の向上
対象者・講師 (人数も記載)	【対象者】（以下の要件をすべて満たす者） ・新潟県内に居住 ・第一種銃猟免許取得から10年以内程度 ・散弾銃又はライフル銃（ハープライフル銃を含む）を所持している者
内容	ツキノワグマによる被害防止に向けた対策や生態及び捕獲手法の座学と実射研修（ベテランハンターの指導）
方法	委託して実施
評価方法	研修会後に射撃検定を実施
事業費	3,999,600円
備考	

注：事業前の計画では各項目について想定又は期待される内容を、事業終了後の評価報告では各項目に関する実績や結果を具体的に記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性の検証方法や事業効果の測定方法等を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価報告時のみ）

参加者 87 名のうち 78 名が検定に合格したことから、専門知識や捕獲技術を有する人材を多く育成・確保できた。

今後、増加しているクマの出没対応のために、高い技術を有する従事者の需要は多いことから、人材の育成・確保を引き続き実施していく。

注1：1の課題及び2の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、目的に対して効果があったか等の検証結果を具体的に記入すること。

注2：注1による効果検証を踏まえ、事業の設計（事業の質や内容）の妥当性や、事業の実施方法の適切性を評価し、課題と改善の方向性を記載すること。また、評価を通じ明らかになった緊急銃猟対応等実務者の育成の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。